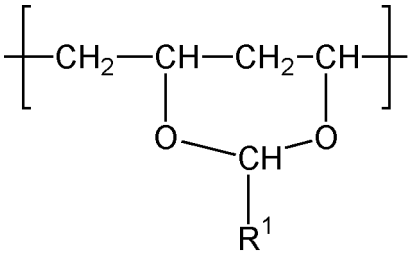
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】令和6年6月12日(2024.6.12)

【国際公開番号】WO2023/048258
【出願番号】特願2022-562873(P2022-562873)
【国際特許分類】
C08J 5/10(2006.01)
C08L 63/00(2006.01)
C08K 7/06(2006.01)
C08L 29/14(2006.01)
C08G 59/18(2006.01)
【FI】
C08J 5/10 CFC
C08L 63/00 A
C08K 7/06
C08L 29/14
C08G 59/18

【手続補正書】
【提出日】令和4年10月14日(2022.10.14)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
炭素繊維、エポキシ樹脂、硬化剤、及び、熱可塑性樹脂を含有する炭素繊維強化複合材料であって、
前記エポキシ樹脂と前記熱可塑性樹脂の混合物は、３０℃における粘度と、９０℃における粘度との比（３０℃の粘度／９０℃の粘度）が１００以上である、炭素繊維強化複合材料。
【請求項２】
前記熱可塑性樹脂は、ガラス転移温度が６０℃以上である、請求項１に記載の炭素繊維強化複合材料。
【請求項３】
前記熱可塑性樹脂は、ポリビニルアセタール樹脂である、請求項１又は２に記載の炭素繊維強化複合材料。
【請求項４】
前記ポリビニルアセタール樹脂は、下記式（１）に示す構成単位を含有し、式（１）中のR^1が、炭素数１以上のアルキル基、及び／又は、炭素数３以上のアルキル基である、請求項３記載の炭素繊維強化複合材料。

【化１】



（１）

式（１）中、Ｒ^{1}は水素原子又は炭素数１以上のアルキル基を表す。また、Ｒ^{1}は同一のものであってもよく、異なるものの組み合わせであってもよい。

【請求項５】

ポリビニルアセタール樹脂は、酸変性基を有する構成単位を含有する、請求項３に記載の炭素繊維強化複合材料。

【請求項６】

ポリビニルアセタール樹脂は、酸変性基を有する構成単位の含有量が０．０１～２０モル％である、請求項５記載の炭素繊維強化複合材料。

【請求項７】

プリプレグとして用いられる、請求項１又は２に記載の炭素繊維強化複合材料。

【請求項８】

エポキシ樹脂、硬化剤、及び、熱可塑性樹脂を含有する樹脂組成物を作製する工程と、

前記樹脂組成物を炭素繊維に複合化する工程と、を少なくとも有し、

前記エポキシ樹脂及び前記熱可塑性樹脂の混合物は、３０℃における粘度と、９０℃における粘度との比（３０℃の粘度／９０℃の粘度）が１００以上である、炭素繊維強化複合材料の製造方法。